

# 武蔵国分寺跡資料館だより

Musasi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

武蔵国分寺跡資料館  
Musasi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10  
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091  
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp  
[HPアドレス] http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/1733/009819.html

2010.4  
第2号



(蓮肉の台座は補足されたもの)

座高 28.4 cm  
重さ 2,647 g



銅造観世音菩薩立像出土地点



銅造観世音菩薩立像出土状況

## 資料紹介 No.1 銅造観世音菩薩立像

東京都指定有形文化財

その昔、都と地方の国府を結ぶ七道（幹線道路）が整備され、武蔵国は東山道（のちに東海道へ転属）に属していました。その東山道の本線から武蔵国府に向かう支路を東山道武蔵路と呼んでいます。

昭和 57（1982）年、武蔵国分尼寺の寺域（寺の範囲）を確認するための調査の際に、この東山道武蔵路に重なる道路跡から、銅造の仏像が発見されました。

見つかった銅造観世音菩薩立像は、火災にあったのでしょいか、手や蓮肉の台座部分が欠損していました。

像の面相はやや面長で、素朴で童顔な優しい顔立ちの中に古式の笑みをたたえています。

立像姿の作風は、奈良法隆寺の夢殿観音像などと似ていることから、白鳳時代後期（7世紀末～8世紀初頭）に制作されたものと思われる。武蔵国分寺が建立された奈良時代よりも古いもので、関東地方で最も古い像と考えられています。

素材は、国内で初期に採掘された銅を利用した可能性が高いです。

## 天平のとびらを聞く 武蔵国分寺跡資料館

今回号では、<sup>むさしこくぶんじあとしりょうかん</sup>武蔵国分寺跡資料館を紹介したいと思います。武蔵国分寺跡資料館は、平成 21（2009）年 10 月 18 日、<sup>しせき</sup>史跡武蔵国分寺跡に開館しました。

### ● 国指定史跡 武蔵国分寺跡

資料館をご紹介する前に、武蔵国分寺についてお話ししましょう。武蔵国分寺は、8 世紀中頃（<sup>ならしだい</sup>奈良時代）に造られた古代寺院です。そのころ、国内では相次いで飢饉や干害、大地震による災害、<sup>えきびょう</sup>疫病が流行して、人々は苦しんでいました。政治を行っていた朝廷でも、<sup>ちやうてい</sup>中心的な役割を果たしていた藤原四兄弟が疫病で亡くなったり、<sup>ふじわらよんきょうだい</sup>太宰府（福岡県）で反乱が起こったりと、混乱が続いていました。

<sup>しょうむてんのう</sup>聖武天皇は、<sup>ぶつぎやう</sup>仏教の力で人々を苦しみから解放し、国を安定させるため、全国に国分寺（僧寺と尼寺がセット）を建立するように命じました。

<sup>むさしのくに</sup>武蔵国では、武蔵国府（府中市）に近く、都へ通じる東山道武蔵路沿いに国分寺を置きました。国分寺市の名前は、古代に国分寺が置かれたことに由来しています。

武蔵国分寺跡は、全国に建てられた国分寺の中でも、規模が大きく、歴史的にも重要なことから大正 11 年に国指定史跡に指定されました。その後、昭和 31 年から、国分寺の姿を明らかにするための本格的な調査がはじまり、<sup>せいび</sup>現在も整備に向けた発掘調査を行っています。

### ● 調査成果と史跡の重要性を伝えるために

武蔵国分寺の遺跡は、僧寺と尼寺のほかに、関連する住居跡などを含むと東西 1.5 km、南北 1.0 km と広大な範囲におよびます。国分寺市内の発掘調査は、市民の協力のもとで進められ、これまでに多くのことが明らかになりました。武蔵国分寺跡資料館は、このような長年の発掘調査の成果をもとに、主に出土した資料を展示して、史跡武蔵国分寺跡を紹介しています。また、史跡を未来にのこすために行っている整備事業の進行状況や、今後の計画なども紹介しています。

### ● コンセプト

資料館では、展示資料を「見る」、そして「学ぶ」と、実際に史跡を「訪ねる」の 3 つをキーワードにしています。

館が史跡内にある利点を生かして、資料館で見ても感じ、学んだことを、現地で体感し、より武蔵国分寺跡の理解を深められるような展示活動を目標にしています。

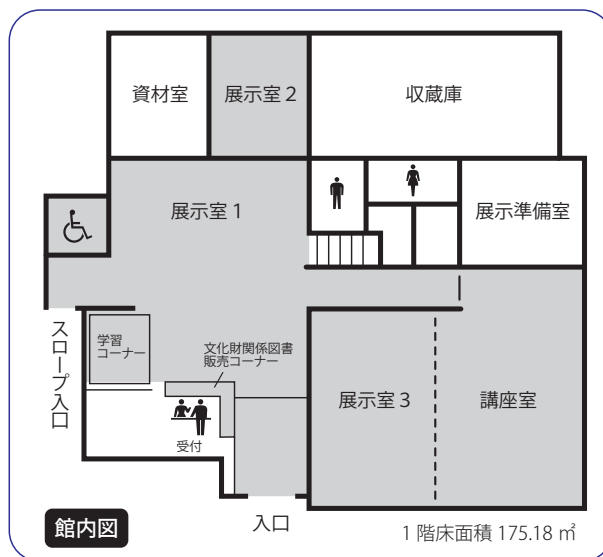
まだ開館して間もないですが、今後は展示やイベント活動を充実できるように工夫していきます。

（学芸員 増井有真）



武蔵国分寺跡資料館外観

おたかの道湧水園の中にあります。もともと建っていた建物を改修して資料館にしました。2 階はふるさと文化財課の事務所となっています。



展示室 1 鎮護国家の祈願 武蔵国分寺  
[主な展示資料] 鍔瓦・宇瓦、戯画瓦、須恵器、土師器、墨書土器、硯、鉄製品など



鍔瓦



墨書土器「国寺」



展示室 2 国分寺市の文化財  
[主な展示資料]

都指定文化財：銅造観世音菩薩立像、唐草四獣文銅蓋、緑釉花文皿  
市指定重宝：石斧、縄文土器、硬玉製大珠、板碑、徳川将軍家寺領安堵朱印状など



硬玉製大珠



緑釉花文皿

Temporary Exhibition

武蔵国分寺跡資料館  
開館記念特別展示



住田古瓦コレクションの世界  
～瓦に魅せられて～



海事史・法制史学者として知られる故住田正一氏が  
収集したとても貴重な全国の古寺・国分寺の瓦を約  
160点展示しています。

【開館時間】9：00～17：00（入館は14：45まで）  
【期 間】2010年6月27（日）まで  
【会 場】武蔵国分寺跡資料館 展示室3

EVENTS

史跡ミニめぐり



第27回「万葉花まつり」の開催に合わせて、国分  
寺市の史跡ガイドボランティアによる史跡ミニめぐ  
りを行います。

【日 時】2010年4月11日（日）  
①10：30\* ②11：00 ③11：30\* ④12：00  
⑤12：30 ⑥13：00 ⑦13：30\* ⑧14：00

【コース】約1時間（\*の回は資料館解説付で+30分）  
おたかの道湧水園・武蔵国分寺跡資料館→真姿の池湧  
水群→北東地域→七重塔跡→南門・中門跡→金堂跡  
【定 員】各回2～10名（前後）  
【集合場所】史跡武蔵国分寺跡入口（特設テント）  
【参加費】おたかの道湧水園の入園料100円  
【問合せ先】史跡の駅 駅長 042-312-2878

展示資料1点からわかること



おたかの道湧水園春の無料公開日に、武蔵国分寺跡  
資料館で展示している資料のなかから、講師（ふる  
さと文化財課職員・武蔵国分寺跡資料館学芸員）が  
選んだ一点について解説を行います。

【日 時】2010年5月3・4・5日  
3日間ともに10：00、14：00の各2回

【解説時間】約1時間～1時間半  
【解説内容】各回の内容については、国分寺市報・市ホ  
ムページでお知らせします。  
【会 場】武蔵国分寺跡資料館 講座室  
【定 員】各回20名  
【募集期間】4月16日～4月27日（要事前申し込み）  
【参加費】無料  
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073

バスで行く市外文化財めぐり



「古代の武蔵国を知る一さきたま古墳群などを訪ねて」  
国分寺建立以前の武蔵国は現在の埼玉県内に大きな  
勢力がありました。古代の武蔵国を知るために、埼  
玉県行田市内にあるさきたま古墳群などを訪ねます。

【日 時】2010年6月4日（金）  
7：45～18：00（予定）

【見学先】埼玉県 さきたま古墳群  
【定 員】36名（国分寺市在住の方限定）  
【募集期間】5月2日～5月15日（往復はがきで申し込み）  
【参加費】2000円と入館料320円（65歳以上120円）  
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073  
※詳細は国分寺市報・市ホームページでお知らせします。

NEWS

無料公開日お知らせ

2010年5月3・4・5日は、おたかの道湧水園春の  
無料公開日です。  
武蔵国分寺跡資料館では資料解説を行います。

臨時休館のお知らせ

2010年6月29日（火）～7月2日（金）は展示資  
料入替のため臨時休館いたします。  
7月3日（土）から通常開館になります。

ホームページ更新のお知らせ

資料館のホームページから「解説シート」、「武蔵国  
分寺跡資料館だより」がダウンロードできるよう  
になりました。

『武蔵国分寺のはなし』改訂版



武蔵国分寺跡資料館の開館を機に、見  
学ガイド『武蔵国分寺のはなし』が改  
訂されました。最近の調査成果・解説・  
カラー図版が加えられ、さらに読みや  
すくなりました。  
A5判144頁 定価400円（税込）

来館者数

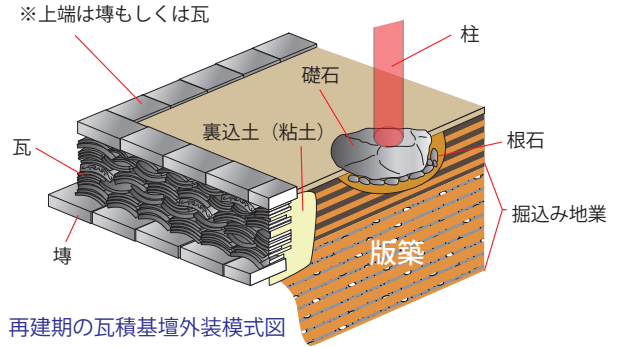
2009年10月18日  
～2010年3月末日 来館者数累計 7844名

2010年

月	来館者数	開館日数
1	764	24
2	567	24
3	878	26
計	2209	74

多くのご来館  
ありがとうございました

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数  
○来館者数（ ）内は無料公開日の入園者数  
○開館日数（ ）内は無料公開日の日数



再建期の瓦積基壇外装模式図

8世紀中頃に創建された講堂は、9世紀後半に建て替えられ、正面七間(36.2m)、奥行四間(16.6m)と、全国の国分寺でも最大級の規模になりました。平成21(2009)年末の調査で、再建期の基壇外装の状況が明らかになりました。創建期は、河原石の上に瓦を重ねた瓦積基壇外装でしたが、再建期は塼を基底にした瓦積基壇

外装になりました。このほか、再建期に設けられた南側と北側の階段が確認され、中央間一間分の幅と想定されています。また、焼土を含む土の層が、基壇の周りで確認され、さらに再建期の基壇が中世以降に掘られた穴に壊されている状況から、この穴を掘った頃には、講堂は機能していなかったと考えられます。

おたかの道湧水園 Photo



<1月>10cmほどの霜柱が立っていました



<2月>湧水園の雪景色



<3月>春の訪れを告げる梅

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】JR国分寺駅下車／徒歩約20分 JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分  
 国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)  
 年末年始(12月29日から1月3日まで)  
 臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)  
 一般……………100円(年間パスポート1000円)  
 中学生以下……無料

【入園料の減免規定があります】

- 1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき(事前に減免申請書の提出が必要です。)
- 2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき(発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。)
- 3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき(事前に減免申請書の提出が必要です。)



作成中

ホームページQRコード